

2018年9月開講

就農準備講座 カリキュラム

科目数		講義内容	詳細
スタンダード	スピード		
1	1	近世～現代の日本農業の歴史 農業を営む心構え	農業のはじまりとされる江戸時代からの歴史を紐解いていきます。戦後以降はJAを中心としてその変遷をみていきます。農業の共同精神を深く理解するべく、「二宮尊徳」の教えを講師独自の視点から解説します。
2	2	自分にあった農家インターン先の探し方 農家が研修生を選ぶポイント	誰にとっても良い農家ではなく、あなたにとってベストな農家がどういった農家であるかを見出すため、自分の特性を理解し考えていきます。一方で、農家が求める人物像も理解することで、互いのミスマッチをなくしていきます。
3		特別講義（農業経営者の生講義）	非農家出身の脱サラ農業経営者がどうやって農家になったのか。農家になってからの農業経営だけでなく、家族、日々の生活ぶりについても赤裸々に語っていただきます。 ※変更の可能性あり
4	3	農業法人を知る① ～地域で果たしている役割～	農村社会における農業生産法人の果たす役割や期待は年々大きくなってきています。地域に密着し、相互扶助の精神で営まれる農業であるからこそ、その役割はきちんと認識しておく必要があります。
5		栽培に関する知識① ～土壌・肥料・植物の生活史～	基本的な植物の生理生態や土質の違い、肥料についての基礎知識を学びます。 農業の基本となる栽培知識を広く、浅く、効率的に学びます。
6	4	栽培に関する知識② ～土壌診断・施肥設計・栽培方法～	自分の圃場の状態と栽培したい品目をもとにどう施肥の量を決めていくのか、またどのように土壌改良をすめればいいのか。また、慣行、減農薬、有機、自然栽培と言われるその栽培方法の違いについても触れます。
7	5	農業の基本知識とIPM	危険なもののみなされる農業ですが、正しい知識をもっている方がどれほどいるでしょうか。農業についてももちろん、散布方法についても正しい知識を身につけ、IPMという農業に極力頼らない防除方針についても学びます。
8	6	農業法人を知る②～法人増加の背景と意図～ 農家インターン 事前準備	近年、急増している農業法人の背景に何があり、今後どのような方向に進んでいくのかを学びます。そこから自分がどのようなスタートを切れればいいのかのヒントもあります。 また、次回科目の農家インターンをより有益するために、事前準備でワークに取り組みます。
9	7	1day農家インターン	農家インターン先候補リストの中から、自分の気になる農家へ1dayインターンしていただきます。農業のリアルな現場を体験するとともに、農業を生業する人々の声を直接、聞くことができます。
10	8	1day農家インターン先の振り返り 1回目 アクションプラン作成	1dayインターンに参加しての振り返りを、他の受講生と共有し合い、そうすることで追体験することができます。また、農家インターンでの経験をふまえ、今後のアクションプランを一旦作成していきます。
11		「農業」と「キャリア」① ～自分史・ライフバイオリズム～	自分自身のこれまでの人生の浮き沈みや歴史を丁寧に紡ぎ出していくことで、自分自身が何者であるかを理解を深めていきます。
12		「農業」と「キャリア」② ～キャリアアーカー・ライフプラン～	自分の根っこがどこにあるかを前の科目を踏まえ自分自身で認識し、これからの中長期のライフプランを描いていきます。そのなかで、農業とどのように関わっていくのかも講師、他の受講生と一緒に考えていきます。
13		「農業」と「キャリア」③ ～自己理解を深める～	自分の自分に対する評価、他人の自分に対する評価を照らし合わせることで、自分がどういった人間であるのかを見つめ直すとともに、自己肯定、他人を肯定することの重要性を体験します。また、次回科目の農家インターンの事前準備もいたします。
14		1day農家インターン	農家インターン先候補リストの中から、自分の気になる農家へ1dayインターンしていただきます。1回目と違う農家を選択して、一口に農業といっても様々な農家がいることを実感ください。もちろん、1回目同様の農家へインターン参加もOKです。
15		1day農家インターン先の振り返り 2回目 アクションプランのブラッシュアップ	1dayインターンに参加しての振り返りを、他の受講生と再び、共有し合います。 前回のアクションプランをもとに、今回の農家インターンの経験をふまえ、プランをブラッシュアップします。
16		「農業」と「キャリア」④ ～自分のスキルを活かす～	自分自身のこれまでの職歴からスキルを棚卸しし、それを今後取り組む農業にどう活かしていくのかを具体的に考えていきます。自分のやりたい農業の姿が見えてきたとき、今の自分の強みをきちんと理解し、活かしていくことで成功につながりやすくなります。
17		最新の農業界の動向 ～JGAP/有機JAS 認証・AI/IoT～	農業においてもグローバル化が叫ばれるなか、その品質を担保する「認証」のGAP、JGAP、有機JASについて学びます。また、最先端の技術がどう農業に活用される可能性があるのかを学んでいただきます。
18	9	農業経営指標と個別就農相談	卒業後のステップを具体化するべく最終仕上げの科目です。 栽培の経営指標の見方も身につけ、講師と今後のステップの方向性を見出ししていきます。 農業にどのように関わっていくのか、意思を明確にしていきます。

※講義内容については、受講生の状況および時間との兼ね合いなどの理由により一部変更する可能性があります。